

## 米国初、原子力発電 80 年運転に向けた運転認可延長申請

米原子力規制委員会（NRC）は 3 月 22 日、ターキーポイント 3・4 号機（PWR、各 80 万 kW）の 2 度目となる 20 年間の運転認可更新（SLR）の申請書を公開した。二度目の更新申請は、米国初であり、2018 年 1 月末に提出していた。

米国では、40 年間の運転期間が原子力法によって定められており、運転認可の更新により、20 年間の運転期間の延長（計 60 年運転）が可能である。NRC によると、40 年間の運転期間は費用回収の経済的側面から決められたものであり、安全性や技術的問題、環境の観点から決められたものではない。また、運転認可の更新回数に制限は設けられていない。現在、米国では図 1 に示すように、99 基の商用原子炉が運転中であるが、60 年の運転認可更新済の原子炉は全体の 87%（86 基）にのぼり、運転認可更新を申請中の 7 基が認められれば、90%以上の原子炉が 40 年超の運転となる。

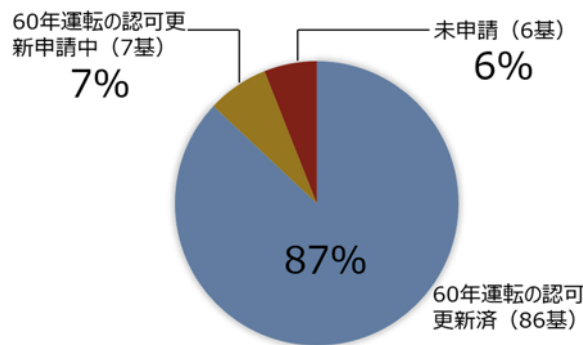


図 1 米国における商用原子炉の運転認可更新状況

【出典】米 NRC ウェブページより三菱総合研究所作成

このように、米国では 60 年運転を予定する原子炉が多数あるが、その半数以上が 2020～2030 年代に運転期間終了の見込みであり、原子力事業者は、SLR 申請を行うことで、80 年運転の時代の幕を開けようとしている。ターキーポイント 3・4 号機以外に、80 年運転に向けた申請を予定している原子炉は、表 1 に示すように、サリー 1・2 号機（PWR、各 83 万 kW）やノースアナ 1・2 号機（PWR、各 94 万 kW）、ピーチボトム 2・3 号機（BWR、各 130 万 kW）がある。

表 1 80 年運転に向けた運転認可の申請予定

事業者	サイト	炉型	基数	60 年運転終了年	予定
ドミニオン社	サリー1・2 号機	PWR	2	1 号機：2032 年 2 号機：2033 年	・2015 年 6 月、NRC に通知 ・2019 年に申請予定。
ドミニオン社	ノースアナ 1・2 号機	PWR	2	1 号機：2038 年 2 号機：2040 年	・2017 年 11 月、NRC に通知 ・2020 年に申請予定
エクセロン社	ピーチボトム 2・3 号機	BWR	2	2 号機：2033 年 3 号機：2034 年	・2016 年 6 月、NRC に通知 ・2018 年に申請予定

【出典】米 NRC ウェブページより三菱総合研究所作成

以上